Press Release

RYOYO

2018 年 10 月 24 日

各　位

菱洋エレクトロ株式会社

菱洋エレクトロが Kiwi Technology Inc. 製品の国内販売を開始

日本企業で初、LoRa 通信網の普及を推進

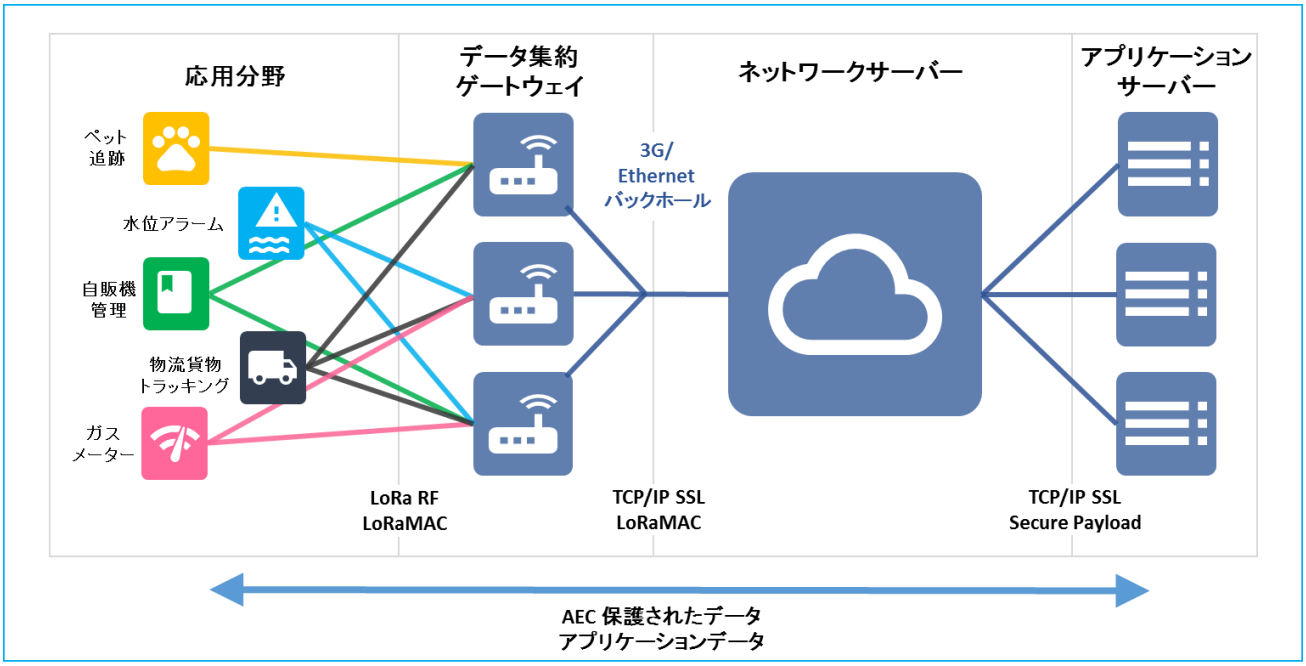
エレクトロニクス商社の菱洋エレクトロ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村守孝、以下「菱洋エレクトロ」）は、IoT のトータルソリューションを提供する Kiwi Technology Inc.（本社：台湾新竹県、Chairman：Judy Lee、以下「Kiwitec」）と取引基本契約を締結し、日本企業として初めて、日本国内での Kiwitec 製品の販売を開始いたします。

IoT 向けの通信ネットワークとして需要が高まる無線通信方式 LoRa*について、LoRa に対応するゲートウェイやモジュール、センサーなどの基盤をワンストップで取り揃える菱洋エレクトロと、具体的な用途に即した LoRa 対応の IoT 製品を販売する Kiwitec が連携することにより、顧客企業のニーズに応じた実用可能な IoT 製品をワンストップで提供できるようになります。

*LoRa=省電力広域ネットワーク（LowPowerWideAreaNetwork=LPWAN）と呼ばれる、少ない消費電力で広いエリアをカバーする無線通信方式の一つ。省電力で長時間かつ広域の通信が可能になるため、IoT 向けの通信ネットワークとして需要が高まっている。LoRa は 1GHz よりも低い「サブギガ帯」と呼ばれる周波数帯域を利用し、最大伝達速度は 250kbps 程度で、伝送距離は最大 10km 程度。台湾や韓国ではすでに普及しており、日本でも普及への取り組みが進められている。

LoRa 通信に必要なゲートウェイやモジュール、ネットワークサーバ、アプリケーションサーバなどの充実した製品ラインナップおよび豊富な販路を有するという菱洋エレクトロの強みと、具体的な用途に即してすぐに実用可能な IoT 製品を有する Kiwitec の強みを組み合わせることで、幅広い顧客企業へ向けて、ニーズごとに最適な製品を素早くお届けすることが可能になります。

また、電力消費が少なく広範囲に渡る無線通信網の構築が可能となることから、河川の水位データをネットワーク経由で集めて監視し、氾濫やダムの決壊を予見するという防災面での利用や、トラックやタクシーの位置情報をネットワーク経由でトラッキングすることで配送時間の予測やきめ細かい配車をするといった物流面での利用など、幅広い分野での応用が期待されています。



LoRa 通信の概念図

キーウィテクノロジー株式会社代表取締役社長ピーター・リン氏のコメント

「日本における初めてのパートナーシップ契約を大変嬉しく思います。日本国内外の豊富な販路と、LoRa に対応するゲートウェイやモジュール、センサーなどを含む幅広い製品ラインナップをワンストップで提供できる菱洋エレクトロを販売パートナーとすることによって、より多くのお客様へ向けて LoRa を活用した IoT 製品をご提供できる体制が整いました。両社のパートナーシップにより、LoRa 通信による IoT ソリューションの実用化で顧客企業様の課題解決のニーズに応えてまいります。」

菱洋エレクトロ株式会社について

半導体/デバイス事業と ICT/ソリューション事業を手掛けるエレクトロニクス商社として、両事業を展開する強みを生かした IoT をキーワードにしたビジネスに注力しています。半導体・デバイス、ネットワーク、クラウドまたはオンプレミスサーバー、運用・保守までトータルにサポートできるサービスを構築し、幅広い産業分野のお客様に対してビジネス変革をサポートしています。

【製品に関するお問い合わせ先】
菱洋エレクトロ株式会社
営業戦略本部
ビジネスデベロップメント部
TEL：03-3546-5011
E-mail：bizdev@ryoyo.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ先】
菱洋エレクトロ株式会社
営業戦略本部
マーケティング・コミュニケーション推進部
TEL：03-3546-6331
E-Mail: pr@ryoyo.co.jp